

中学音楽の特色

① 学習の見通しがもてます

うたう
歌唱

主体的・対話的で深い学び

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、進んで学び合う活動が展開できるように工夫しました。自分の考えなどをまとめ「話し合おう」によって協働的な活動が展開できるように工夫しました。



教材のイメージを生かしたカラフルな表紙…1年は緑、2・3上はオレンジ、2・3下は青。それぞれのタイトルカラーを用いてはっきりと色分けしました。また、用紙の紙質は強固で、しっかりとしたつくりになっています。

ACTIVE! すすんで学び合おう

1年 主要教材「青空へのぼろう」の場合

1年
p.8

青空へのぼろう **ACTIVE!**

声の出し方や発音、歌う姿勢を身につけてほしい。

強弱や音域に合わせた歌い方を身につけてほしい。

マーチのように

1 みんなでいこう どこまでいこう あお
2 みんなでうたおう こえあわせうたおう あお

みん な で い こ う ど こ ま で も い こ う あ お
みん な で う た お う こ え あ わ せ う た お う あ お

みん な で い こ う ど こ ま で も い こ う あ お
みん な で う た お う こ え あ わ せ う た お う あ お

V (プレス)…息つき

1年 p.6

アニー・ローリー **ACTIVE!**

強弱や音域を意識して表現しよう。

Moderato

1 (R) し の ア ニー ローリー い き ま く し く
2 (R) の フ ロー リー い ま く し く

は る か と い い せ ら の け こ う が 5
は る か と い い せ ら の け こ う が 5

1年 p.10

ACTIVE! 青空へのぼろう

「青空へのぼろう」を次の①～④の四つに分けたとき、それぞれの似ているところや違うところなどを確かめ、気がついたことを楽譜に記入しよう。

① 似ているところ

② 違うところ

話し合おう ①は、②や③とどんな関係にあるの？ 歌ったときの印象も含めて、感じたり気がついたことをまとめ、交流しよう。

④は、①や③とどんな関係にあるの？ 歌ったときの印象も含めて、感じたり気がついたことをまとめ、交流しよう。

「青空へのぼろう」はどんな構成になっているか説明してみよう。また、構成を生かして、どんな表現の工夫ができるのか、考えてみよう。

強弱記号や音の高さも意識して、声の出し方なども工夫してみよう。

1年 p.8

🔄 比べてみよう

「アニー・ローリー」と比較して表現することで確かな学びへ向かいます。

「青空へのぼろう」の構造を理解し表現を工夫するページが続きます。

① 学習の見通しがもてます

大きく鑑賞

主体的・対話的で深い学び

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、進んで学び合う鑑賞の活動が展開できるように工夫しました。聴き取ったり感じ取ったりしたことを「話し合おう」によって協働的な活動が展開できるように工夫しました。

ACTIVE! すすんで学び合おう

2・3下 主要教材「ブルタバ(モルダウ)」の場合

聴き取ったり
気づいたりしたことを記録して、
対話的な活動につなげます。

ブルタバ(モルダウ) **ACTIVE!**
速作交響詩「我が祖国」から スメタナ 作曲

「ブルタバ(モルダウ)」は、作曲家スメタナの祖国チェコに対する思い、ブルタバ川の様子や流域の情景などに託して、音楽で表現しています。川の流れるとともに移り変わる情景を、どのようにオーケストラで表しているのかを、作曲家の思いを感じ取りながら聴いてみましょう。(p.30「この曲に寄せる作曲家の解説」参照)。

ブラハの指を流れるブルタバ川

楽曲について

「我が祖国」は、チェコ共和国西部のボヘミア地方の伝説や自然を題材にして作曲された、六つの楽曲からなる速作交響詩です。この作品には、作曲当時、オーストリア帝国から独立しようとしていた祖国に対するスメタナの思いが満ちています。

「ブルタバ」は、この速作交響詩の2曲目におかれた楽曲で、ボヘミア地方を南北に流れるブルタバ川(ドイツ語圏ではモルダウ川)のさまざまな姿と、周囲の景色や人々の生活が表現されています。

交響詩とは

19世紀の中頃に成立した、自然や文学的な内容などを、オーケストラを用いて自由な形で描く音楽のことです。

「ブルタバ(モルダウ)」が描くさまざまな情景

ブルタバの二つの水源

フルート (最初の水源)
Allegro comodo, non agitato (適度に速く、激しくしない)

クラリネット (第2の水源)

フルート クラリネット

聴き取ったり気づいたりしたことを記録しておこう。

2・3下 p.26

ACTIVE! **ブルタバ(モルダウ)**

ブルタバの主題
第1ヴァイオリン、オーボエ
原曲のチェコ民族を表現しています。

森のゆり
ホルン
ホルンの祖先は、狩猟の時の合図に用いられたそうよ。

村の(田舎の)結婚式
第1ヴァイオリン、クラリネット
L'istesso tempo, ma moderato (楽章となる拍の速さを同じにし少し中ぐらいの速さで)

月水の晶の踊り
フルート
L'istesso tempo (同じ)

ブルタバの主題
第1ヴァイオリン、オーボエ

聖ヨハネの急流
金管楽器、チェロ、コントラバス、打楽器 (銅鑼はホルン、チェロ、コントラバス)
(緩形の速さで)

コントラバス チェンバロ シンバル

28

2・3下 p.28

交響詩「フィンランディア」 **ACTIVE!**
シベリウス 作曲

シベリウスが作曲した「フィンランディア」は、フィンランドの独立運動の精神と深く関わっています。この曲には、後に「フィンランディア賛歌」として有名な部分があります。楽曲を大きく四つに分け、それぞれの曲想を感じ取り、作曲家の思いを想像しながら鑑賞してみましょう。

冒頭部
Andante sostenuto (ゆっくりとした速さで、上半身は揺らぐ)

トランペットなどのファンファーレが始まる部分
Allegro moderato

後に「フィンランディア賛歌」となる部分

曲の終わりの部分

話し合おう

音楽の表現とフィンランドの独立を願ったシベリウスの思いなどについて発表し交流してみよう。

ジャン・シベリウス (1865-1957)

2・3下 p.31

比べてみよう

スメタナと同じ国民楽派、シベリウスの交響詩「フィンランディア」と比較鑑賞することで確かな学びが期待できます。

① 学習の見通しがもてます

つくる
創作

主体的・対話的で深い学び

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、
進んで学び合う創作の活動が展開できるように工夫しました。協働的な活動によって、
イメージを共有したりイメージに合った音楽をつくったりするように工夫しました。

1年 全体の構成を考えながら音楽をつくろうは、
5～6人のグループで表現したいテーマを決め、さまざまな言葉で表し、
イメージに合った音楽をつくっていきます。

p.34 に続けて、声や身近な楽器を取り入れた活動のページ
Let's Try! 全体の構成を理解して表現を楽しもう
「くいしんぼうのラップ」を表現することで、
構成、リズム、テクスチャの学習をさらに深めることができます。

全体の構成を考えながら音楽をつくろう

はじめに 日本語には、自然や動物、物などが発する音や、様子を表す言葉がたくさんあります。

活動1 5～6人のグループになり、表現したいテーマを決め、さまざまな言葉で表してみよう。

活動2 「活動1」で表した言葉をカードにして、繰り返し重なり合せてテーマを表現してみよう。

活動3 テーマにそった簡単なストーリーを想像し、構成や言葉の重ね方を工夫して、イメージに合った音楽をつくろう。始め方と終わり方も工夫しよう。

左ページの「活動①」～「活動③」を参考にして、
次の「活動④」～「活動⑥」の順番で音楽をつくってみよう。

活動4

テーマ

言葉

活動5

ア イ ウ エ

活動6

ストーリー

構成図

セツト楽しセ? もう一度、簡単なストーリーや集めた言葉を検討し、
交流したことを参考に作品をつくり直してみよう。

1年
p.34

Let's Try!

全体の構成を理解して表現を楽しもう
くいしんぼうのラップ

和田 崇 作・構成

1 ラーメン ラーメン

2 ラーメン ラーメン

3 おなががすいたー おなががすいたー

1 サイダー サイダー

2 サイダー サイダー

3 のみたい のみたい

1 ステーキ ステーキ

2 ステーキ ステーキ

3 おいしいたい おいしいたい

1 おそば おそば

2 うどん うどん

3 おなががすいたー おなががすいたー

1 ラーメン

2 ラーメン

3 たべたいのみたい おなががすいたー

1 ラーメン

2 ラーメン

3 たべられない たべたいのみたい

1年
p.36